

ガバナー一月信



月信1月号

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ① ガバナーメッセージ | ⑥ 財団委員会通信 |
| ② 財団・米山高額寄付者感謝の集い | ⑦ 地区主要行事予定 (1月・2月) |
| ③ 米山学友会報告 | ⑧ 新入会員紹介・訃報 |
| ④ 第1回地区運営会議・激励会 | ⑨ コーディネーターニュース |
| ⑤ 地区研修委員会 | ⑩ ハイライトよねやま |

国際ロータリー第 2560 地区
2023-24 年度

米山ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1

TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



ガバナーメッセージ

2023-24 年度 ガバナー

米山 忠俊 (三条北 RC)

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は第 2560 地区の皆様にご多大のお世話になりました。ありがとうございました。

おかげ様で昨年 12 月をもちまして地区の四大大会と地区内各クラブの公式訪問をすべて終えることができました。特に公式訪問では、すべてのクラブで私の訪問を歓迎していただきまして、心より感謝申し上げます。

先月の米山記念奨学会記念ニュース ハイライト米山に、中国出身の米山学友、周順圭さんが 8 月 26 日付で内閣府から紺綬褒章を授与されたという記事がありました。米山奨学会に個人として 50 万ドル (約 6,650 万円) をご寄付頂いたことにより、今回の受賞に至りました。ご寄付の詳細なことは 2022.6.10 発行のハイライト米山 vol.267 にありますので、皆さんぜひご覧ください。【highlight267_pdf.pdf (rotary-yoneyama.or.jp)】また、You Tube にも受賞の様子が 5 分弱の動画として挙がっています。周順圭さんの素敵なお人柄がとてもよく出ている動画ですので皆さんぜひご覧ください。【(1) <特別インタビュー>紺綬褒章受章学友 周 順圭氏 - YouTube】

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉の功績を記念して発足しました。米山梅吉が 20 代で学んだアメリカ、オハイオ州のウェスリアン大学はキリスト教メソジスト教会によって創立された私立大学ですが、メソジスト派の創始者ジョン・ウェスレーは次のような言葉を残しています。

「Gain all you can, Save all you can, and Give all you can」(大いに稼ぎ、大いに蓄え、そして大いに与えなさい)

これが欧米の資本主義の思想と、自ら蓄えた財産を社会や未来のために寄付する文化を育てたと言われています。米山梅吉はこれらの思想に大きな影響を受け、そして、生涯をかけそれを実践したのです。

人は、財産ばかりでなく、才能、知識、努力、献身など、誰でも世のため人のために与えることのできる何かをもっているはずで、私たちロータリアンは常に「与える人」であり続けましょう。

今年の干支は辰です。辰つまり竜は天にも昇る、大変縁起のいい年です。皆様のご健康とご多幸を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。



2023-24 年度 財団・米山感謝の集い午餐会

米山記念奨学委員会
委員長

渡邊 嘉子 (新津中央 RC)

昨年 11 月 25 日 (土) ホテルオークラ新潟を会場に「2023-24 年度 財団・米山感謝の集い午餐会」を、米山ガバナー、南雲ガバナーエレクト、室賀ガバナーノミニーをはじめ 19 名のメジャードナー、メジャードナーに准じる方々にご参加をいただき開催致しました。

当日は日ごろからの両委員会へのご理解ご協力とご寄付対しまして感謝を込めて感謝状を贈呈し、授与者代表で三条 RC の小越憲泰様より謝辞をいただきました。引き続き米山記念奨学会の現状とロータリー財団とポリオについて、(公財)ロータリー米山記念奨学会理事の新保清久様よりご講演を頂き式典は終了いたしました。第 2 部懇親会のアトラクションとして米山奨学生の余子慶さんと周燕妮さんの笛とピアノの演奏が披露されました。中国の横笛・縦笛・瓢箪笛とピアノのソロや合奏曲を披露し、その後度々アンコールが求められ、ロータリーソング「奉仕の理想」はロータリアン全員が立ち上がったの合唱となりました。参加された皆さんの笑顔に触れ、このような機会も大切なことなのではと思いました。

奨学生も勉学で忙しい中、時間を割いての練習となり大変だったと思いますが、ロータリーの皆様と交流できたこと、また優しい言葉をかけていただいたことにありがたく胸を熱くしておりました。ありがとうございました。

今後も、財団・米山に対してご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げ、報告とさせていただきます。







新潟市立下山中学校との 交流活動を行いました

学友会理事会
幹事
チャスナ
扎蘇那

11月30日(木)に、新潟市立下山中学校との交流活動を行いました。昨年度も「環境問題」をテーマに、下山中学校の生徒会との交流を行いましたが、今年度も学校からお声かけていただいたため、渡邊嘉子米山記念奨学委員長、渡辺雅志奨学生学友委員長、米山奨学生の周燕妮さん(長岡西RC)、レーチアンフォンさん(長岡東RC)、理事会幹事扎蘇那の5名が参加してきました。

今回は、新潟市立下山中学校の英語の授業で「人種差別」「共生社会の構築」について学んでいるとのことで、留学生はそれぞれのグループに入って、これまでの経緯や人種差別に対する考え方、共生社会に向けての考え方などについて、生徒たちのプレゼンを聞き、その後ディスカッションを行いました。8時30分の一限目から12時20の四限目までに、3年1組から3年4組まで回りながら、多くの生徒と交流を図ることができました。

昨年度に続き、今年度も下山中学校との交流事業を行うことができ、「ぜひ来年度も」という継続的なつながりをつくることもできました。奨学生のお二人からは、「また機会がありましたら、ぜひ参加させていただきたい」という感想をいただきました。

学友会として、今後もこのような交流活動を多く企画し、米山奨学生に様々な体験の機会を提供し、幅広いつながりを作れる場を提供できればと考えております。引き続きご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。





2024-25 年度 第 1 回地区運営会議・激励会開催

ガバナーエレクト

南雲 博文 (長岡 RC)

9月10日に、パストガバナー、地区役員とスタッフの方々と2024-25年度の結団式を行って頂きました。誠にありがとうございました。その日から正式にスタートしたわけではありますが、既に準備は始まっています、それまでに長岡 RC の準備委員の方と打合せを行って参りました。更に、地区研修委員会も既に第1回目の私の年度のガバナー補佐研修が行われていました。大変ありがたいことで、2560地区変革の大きな一歩になりえると大いにご期待をしているところでございます。

そんな中、早いもので12月2日に第1回目の地区運営会議が開催されました。

地区の三年度三役、ガバナー補佐、各委員長、副幹事、スタッフ、42名で、それぞれの担当からスケジュール、現状での方向性等が発表されました。来春1月の国際協議会のRI会長方針、テーマを受けまして、1月27日の国際協議会報告、第2回目の地区運営会議で、RI会長の方針と私の2560地区の年度方針を発表させて頂くこととなります。運営会議で、一つだけ私の思いをお話しさせて頂きました。「ロータリーはステージ」あなたが輝く!、演じる人も楽しみ、観ている人もこんなステージに立ちたくなる、そんな場所であって欲しいと願って考えました。

そのあと、激励会を(国際協議会への壮行会)、全員のパストガバナー様からご参列を賜り、ガバナー補佐、地区役員、スタッフの方々から行っていただきました。

いよいよ、本番到来です。改めて気の引き締まる思いと、緊張感を大いに感じた次第でございます。改めて感謝を申し上げます。





南雲年度クラブ会長幹事研修 開催のご報告

地区研修委員会
委員

西方 太地 (長岡西 RC)

地区ロータリアンの皆さまには、日頃より地区研修委員会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月9日(土)にホテルニューオータニ長岡にて、第2560地区の会長エレクト及び次年度幹事の方々にお集まりいただき、クラブ会長幹事研修会を開催いたしました。当日は、南雲ガバナーエレクトをはじめとした地区役員28名と、会長エレクト及び次年度幹事の皆様91名、合計で119名の参加をいただき開催することが出来ました。多くのロータリアンの方々からご参加いただき開催できたことを感謝申し上げます。

今回の南雲年度クラブ会長幹事研修会は、当地区における初の試みであります。来年の会長エレクト研修セミナー(PETS)前に、当研修会にご参加いただくことで、会長・幹事としての不安を解消し「自信」を持ち、今後のクラブ運営に取り組めるようになることを目的としています。



(南雲ガバナーエレクトよりご挨拶)



(クラブ会長幹事研修会 研修会場)

本研修会は、全2部構成にて実施いたしました。まず、第1部は「クラブ会長のガイドライン」と題して、高橋秀樹地区研修チームリーダーと担当講師陣が、座学形式にてクラブ会長としての心得や幹事の役割、ガバナー補佐の役割や活動、MyRotaryやラーニングセンターの活用等を説明させていただきました。

今回、講師を担当した関川博副委員長からは、MyRotaryの重要性について説明がありました。クラブ内の情報(過去含む)やクラブ運営に欠かすことのできない情報が多く記載されているため、

クラブ活性化のために積極的な活用をお願いさせていただきました。

なお、2560 地区内における登録率は約 29%と登録率が伸びていない状況にあり、MyRotary の利用を推進する必要性についてもご説明させていただきました。

地区研修委員会では、研修チームとして高橋地区研修チームリーダーと関川地区研修チーム員の二人でスタートしましたが、講師の育成プログラムで今回は私が、長岡西ロータリークラブ会長年度で体験した事をお話しさせていただき、ボーイド原富美子さんが MyRotary の中にある個人研修プログラムのラーニングセンターを紹介されました。ラーニングセンターには、クラブ会長研修とクラブ幹事研修があり、それは就任前に受講した方が良いことを力説すると、みなさん一斉にスマホから登録を始めたことが印象的でした。やはり、ボーイドさんのスピーチによる効果だと実感いたしました。



(高橋地区研修チームリーダー)



(西方地区研修チーム候補)



(ボーイド地区研修チーム候補)

次に、第2部は「ガバナー補佐とコミュニケーション」と題して、ワークショップ形式にて実施しました。各分区毎に集まりの次年度ガバナー補佐を中心にディスカッション等を行いました。初顔合わせの機会となりましたが、そこは同じロータリアンということもありすぐに打ち解け、各ガバナー補佐からは、今後のガバナー補佐の役割、各クラブとの関わり方についての説明がありました。各分区の皆様が顔を合わせ、活発な意見交換や疑問の解消等を行えたこともあり有意義な機会となったかと思えます。



(第2部 ワークショップ ガバナー補佐を中心にディスカッション)

この研修が、会長エレクト及び次年度幹事の皆様のクラブ運営に対するイメージを持つ一助となり、皆様が会長・幹事として自信を身につけPETSに出席いただく事で、RI会長及びガバナーの方針を、クラブ運営方針やテーマに繋げていただきたいと思います。

研修会後は、盛大に懇親会も開催されました。他クラブの同期の会長・幹事の皆様と交流ができたかと思えます。また懇親会の中で、各会長エレクトの皆様に修了証が授与されました。懇親会を通じて、ロータリーの心で友情を深めて頂けたと思えます。

長丁場の研修開催ではございましたが、有意義な研修会だったと思えます。参加された会長エレクト、次年度幹事、多くのロータリアンの皆様ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



(室賀ガバナーノミニの乾杯)



(鈴木地区研修委員会顧問の締め)



(第一分区の皆様)



(第二分区の皆様)



(第三分区の皆様)



(第四分区の皆様)



(第五分区の皆様)



(第六分区の皆様)



(第七分区の皆様)



「世界でよいことをしよう」 財団委員会通信



第 12 回 日本ロータリー学友会総会

2023 年 11 月 25 日（土）～26 日（日） 福島県南相馬市 ホテル丸屋グランデ

参加報告：奨学金・学友会・VTT 委員長 大竹賢一

この度、日本ロータリー学友会総会に参加して参りました。

会場は南相馬市の原ノ町駅にあり、新潟からは磐越道経由で 4 時間程の距離です。

第一部の総会では事業報告、事業計画が決議され、続いて第二部の震災支援（学友協力プロジェクト）の発表がありました。三件の事例発表は以下の通りです。

1. ドイツ学友会の栗田ゆかりさん。ドイツの 1840 地区と 2530 地区（福島）とのマッチンググラントで、2780 地区、2530 地区、1840 地区の DDF と合わせて総額 117178 ドルの事業を実施。浜通りの 30 の小中学校に図書を寄贈しました。
2. 2530 地区学友の佐藤幸司さんの発表。地区から支援金をどこにどのように使うかを調べる依頼があり、教育関連を重点的に調査しました。短期間で 10 か所を訪問して何が必要とされているか聞き取り調査し、その内容は地区からクラブへと伝達されて支援活動の貴重な情報となりました。
3. 東京愛宕 RC 佐藤秀樹さんの発表。ホノルルサンライズ RC との共同プロジェクトで、盲学校の生徒を対象に一週間のホームステイとキャンプ、現地の盲学校視察などを実施しました。事故や病気等で視力に障害を持つ若者たちの人生に大きな影響を与え、学業、就職、スポーツなどで活躍している事例が報告されました。

第三部の各地区学友会の活動報告では 2590 地区の学友が地区内の中高生に経験談を語ることで、留学を目指す若者の支援をしています。我が 2560 地区では高橋学友会会長が東日本大震災時の活動を報告。日本を脱出するために新潟空港などに殺到する外国人のための活動などの報告をされました。また、自身で取り組む平家琵琶の演誦会についても発表されていました。

その後、懇親会で一日目は終了。参加の学友は年齢、国籍も様々で多くの方と交流ができました。二日目の第四部は震災遺構の請戸小学校と原子力災害伝承館を見学。リアルな現地の状況と生々しい資料の数々に圧倒されました。海岸に近いそのエリアは元々多くの住宅があったのですが今は一面の野原です。原発も近いため立ち入り禁止区域がたくさんあり、被災地の厳しい状況を感じることができました。

学友会総会のイベントのひとつとして伝承館のロビーでピアノコンサートが開かれ、一般の方も多く鑑賞していました。

最後に、双葉町の工業団地にあるフタバスーパーゼロミル（浅野燃糸福島工場）を見学し、社内のカフェで昼食をとって解散となりました。



第 2560 地区 2023-24 年度 11 月末 会員数報告

R	C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数				
				2023年 7月1日	11月末 会員数	うち女性 増減		
第1分区 (9クラブ)				-	378	385	39	7
		3	31.1%	89	90	1	1	
		4	17.5%	39	40	9	1	
		3	28.1%	31	32	1	1	
		4	100.0%	48	48	3	0	
		4	20.5%	38	39	5	1	
		3	16.7%	25	24	2	-1	
		4	4.2%	45	48	5	3	
		3	52.8%	37	36	7	-1	
		3	25.0%	26	28	6	2	
第2分区 (9クラブ)				-	436	453	31	18
		4	30.6%	78	85	3	7	
		3	14.5%	61	62	7	1	
		5	33.1%	114	118	8	4	
		3	80.0%	5	5	0	0	
		4	46.5%	40	43	2	3	
		4	13.2%	36	38	3	2	
		4	35.1%	37	37	1	0	
		3	30.4%	22	23	0	1	
		3	52.4%	43	42	7	0	
第3分区 (5クラブ)				-	91	94	5	3
		4	20.0%	15	15	1	0	
		4	46.2%	12	14	0	2	
		4	28.1%	32	33	1	1	
		4	38.5%	26	26	3	0	
		4	0.0%	6	6	0	0	
第4分区 (11クラブ)				-	364	366	29	2
		5	8.9%	53	55	0	2	
		3	7.5%	39	40	3	1	
		4	6.9%	29	29	4	0	
		2	17.5%	42	40	2	-2	
		4	68.8%	31	32	4	1	
		3	5.0%	20	20	1	0	
		3	3.8%	28	26	3	-2	
		4	9.4%	52	54	3	2	
		3	7.1%	27	27	3	0	
		4	14.3%	6	6	2	0	
		4	18.9%	37	37	4	0	

R	C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数				
				2023年 7月1日	11月末 会員数	うち女性 増減		
第5分区 (7クラブ)				-	287	302	30	15
		3	68.8%	46	48	4	2	
		4	2.2%	42	46	0	4	
		3	23.3%	54	60	8	6	
		3	19.5%	40	41	2	1	
		4	14.3%	21	21	1	0	
		4	18.0%	48	50	4	2	
		3	25.7%	36	36	11	0	
第6分区 (6クラブ)				-	125	124	11	-1
		3	32.3%	31	31	4	0	
		4	10.3%	31	29	2	-2	
		5	15.4%	26	26	3	0	
		3	0.0%	15	15	1	0	
		4	20.0%	14	15	1	1	
		4	12.5%	8	8	0	0	
第7分区 (7クラブ)				-	309	311	21	2
		2	31.4%	68	70	4	2	
		3	36.1%	72	72	6	0	
		3	12.1%	32	33	1	1	
		4	95.2%	43	42	3	-1	
		4	63.9%	36	36	3	0	
		3	56.0%	25	25	0	0	
		4	81.8%	33	33	4	0	

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,990 人
11月末会員数	2,035 人
女性会員数	166 人
純増減会員数	45 人
My Rotaryアカウント登録率	29.1 %

地区主要行事予定

2023年12月26日現在

年	月	日	行 事	会 場	
2024年 (R6) 米山年度	1月	職業奉仕月間			
		7~11	(日~木)	国際協議会	オーランド(米国フロリダ州)
		13	(土)	2024学年度米山記念奨学生選考会	万代シルバーホテル
		27	(土)	国際協議会報告・地区チーム研修セミナー・ 地区諮問委員会・第2回地区運営会議	長岡グランドホテル
		28	(日)	全国RA委員長・地区代表合同会議	AP東京八重洲
	2月	平和構築と紛争予防月間			
		3	(土)	第2回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルオークラ新潟
		10	(土)	第2回青少年交換派遣学生オリエンテーション	燕三条地場産業振興センター
		17	(土)	第2回地区ロータリー財団セミナー兼補助金管理セミナー	ホテルオークラ新潟

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
佐渡南	中原 匡晶	2023.11.01	(株) NIシートメタル	代表取締役	建築板金
佐渡南	小濱 和博	2023.11.01	(有)小浜組	代表取締役	建築設計
白根	齋藤 博文	2023.11.06	株式会社 中文商店	代表取締役	菓子販売
柏崎東	石口 裕基	2023.11.06	(株)石口工務店	代表取締役社長	建築業
新潟東	中野 循雄	2023.11.10	(株)ハートナーホーム	代表取締役	不動産賃貸業
新潟西	長井 竜一	2023.11.16	(有)長井塗装	代表取締役	塗装
三条北	涌井 敏	2023.11.28	(株)ワクイ	代表取締役	各種商品卸
巻	渡邊 三代	2023.12.01	(有)猫の手工房	代表取締役	内装業
長岡西	平田 光一	2023.12.01	アクト通信株式会社	代表取締役社長	通信施設
柏崎	森山 真太郎	2023.12.04	司法書士 森山事務所	代表	司法書士
長岡	大洞 勝義	2023.12.05	北越メタル株式会社	代表取締役社長	鉄鋼製造
長岡東	青柳 麗	2023.12.06	(株)新潟デリカ	代表取締役社長	イベントレンタル業
長岡東	川辺 和也	2023.12.06	(株)コープビル ホテルニューオータニ長岡	取締役管理統括	ホテル

【訃報】 ご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
高田	牧野 章一	2023.11.20	アイエムタクシー(株)	代表取締役	タクシーサービス	2014-15 クラブ幹事 2018-19 クラブ会長
三条	衛藤 泰男	2023.11.21	(株)ナカヤ	相談役	建設用工具製造	



柔軟で愛に満ちたクラブ運営をしましょう



第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 若林 英博（東京麹町 RC）

ロータリークラブは「正会員」と「名誉会員」の2種類の会員種類をもつことができます。

正会員の必須事項は 1.例会に出席すること 2.会費を納めること 3.ロータリーの雑誌を購読することですが、会費の中には RI 人頭分担金、地区賦課金、例会費、事務局経費、場合によっては地区大会人頭分担金などが含まれます。

現在 RI では、クラブが多様な会員種類を作っても構わないことになっています。第 2580 地区のクラブでは、様々な会員種が出ていますのでご紹介いたします。

- シニア会員…ご高齢の方の退会防止につながります。あるクラブでは、“年齢 84 歳以上、ロータリー歴 20 年以上、クラブ理事会でシニア会員になれるかどうかの可否を判断する”と基準を設けています。例会には月 1 回まで出席は無料、あとはメイクアップ扱い(ビジター費をいただく)にします。会費は年 10 万円にしています。この制度は会員が仕事をリタイアして満額の会費負担が厳しい、ご高齢になられて体力的に厳しく家族の反対がある、そろそろロータリーを引退かという方を想定しています。最後までロータリアンでいたい、棺桶にバッジを付けて入りたいなど、心の底からロータリーが大好きな方に手を差し伸べる仕組みです。但し余裕のある資産家の方には、申し訳ないですが、84 歳以上になられても一般の正会員のままでいていただくというクラブの規定があります。理由はクラブの運営費が不足するからです。
- 家族会員…正会員のご家族に入会してもらう仕組みです。例えばご主人がロータリアンで、ご子息が他団体に入会していることはよくありますが、家族会員制度を利用して早くからロータリーに入会いただこうとする制度です。会費は正会員の半額とし、世帯で合計 1.5 倍の会費を支払います。例会にお二人揃って無条件参加可能としているクラブと、例会参加はお一人ずつなど、ある程度の出席制限を設けているクラブがあります。お二人揃って全ての例会に参加されると採算が合わなくなる可能性があるからです。
- WEB 会員…コロナ禍でズームなどを使った、対面とバーチャルのハイブリッド例会が可能となりました。WEB 会員は、例会にバーチャル参加することが基本となります。食事を召し上がらないので会費を低額に設定することができます。例会に対面参加した場合にはビジター費をいただきます。家族会や親睦旅行には対面で参加します。お仕事の関係で昼の例会に出にくい方、遠方の方、若くてまだ満額の会費負担が厳しい方に対して有効な制度です。

会員制度ではありませんが、衛星クラブの紹介をします。すでに全国的に衛星クラブが多くなってきました。衛星クラブの創設には 8 名以上の会員候補者が必要です。会員が 20 名以上になるとロータリークラブに変更することも可能です。衛星クラブの会員は、スポンサークラブの会員として会員数に加算されます。例会数や会費は衛星クラブが独自に決めますが、RI 人頭分担金などは支払わなくてはいけません。現在年間 6 万円の会費としている衛星クラブが当地区では多いようです。

なお、これらの会員種類は全て各クラブの理事会で詳細を決めていただきます。どうぞクラブの活性化に役立ててください。皆様の周りで、新しい会員種類を設けたクラブや検討中のクラブがあれば、ぜひ詳細をご教授ください。機会があれば、全国のクラブへ情報共有したいと思います。

入力フォーム <https://forms.gle/lhneFbkGGzPyJ7ay8>





第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 高良 明(川崎西 RC)

(ポリオ根絶ショートストーリー)

1. 昔々、世界で、ポリオという病気で困っている子供たちがたくさんいました。
2. しかし、世界中の誰も助けることができませんでした。多額のワクチンのお金が必要だったのです。
3. それを知ったロータリーは、「奉仕の理念」のもとに手を差し伸べることにしました。
4. その結果、人道的奉仕を志すロータリーの仲間たちによって多額の寄付が集まり、とうとうこの世からポリオをなくすまで「あと少し」のところまでできました。
5. ポリオを根絶し、世界の子供たちが笑顔で暮らす日が間もなく訪れようとしています。

一人ひとりのエネルギーを結集すれば偉大な力が生じます。そのエネルギーの元(源泉)は一体何でしょうか。フィロソフィーや、理念・目的といった人生・世界観に基づいた「考え方」であろうと思います。行動しなければ確かに何も生まれませんが、その行動を促す原動力となるものは、その「考え方」にありたいと思います。ロータリーは崇高な「超我の奉仕」の標語(フィロソフィー)を根底に、「奉仕の理念」を具体的に実践行動して形に現わさんとする職業人の集まりです。

ポリオ根絶の国際プロジェクトの成果も、「奉仕の理念」が具体的な実践行動として現れた結果です。「The Ideal of Service」=「Take Action」でなければなりません。これはコインの表裏の関係と同じでありましょう。そこにロータリーたる真骨頂があると思います。

また、ロータリーは「何をするか(What)」を考えることはもとより大事なことでありますが、ロータリーは「何のためにそれをするか(Why)」を常に問いかけて、ロータリーの目的、そしてロータリーの使命を果たしビジョンを実現していかなければなりません。異なる職業人の集まりであるロータリーにとっての魅力は、何といっても DEI よろしく異業種の仲間との友情にあります。その根底に流れる「奉仕の理念」を中心としたロータリーの価値観が、個々のロータリアンの心に灯をともし、これがロータリークラブの存続、あるいは社会の発展、世界の平和へと広がり、これらの紐帯となっていることだと思ふのです。ロータリーの哲学を学び、これを仕事で、クラブで、社会で活用し行動してこそロータリーの存在価値・意義があり、そこにロータリーの魅力を生み出す価値があると考えます。

このように真のロータリーの魅力が一般社会に伝えられれば、公共イメージの向上につながり、ロータリーの更なる発展向上の推進力になるものと信じます。世界中を「奉仕の理念」が当たり前の世の中にしたいものです。



第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 大谷 新一郎（相模原南 RC）

第2地域ロータリー財団コーディネーター補佐を前任者田中賢三氏より引き継ぎ拝命しました大谷新一郎(2780地区・相模原南 RC)です。伊藤RRFCの補佐として与えられた職務を粛々と務めてまいる所存です。

2023年11月19日に行われましたロータリー財団地域セミナーにおきまして、令和4年度に公益財団法人ロータリー日本財団に寄せられた寄付額は2,210,263千円と最高額を達成できた旨の報告がありました。皆様の財団に対するご理解とご協力に心から敬意を表する次第です。

このように寄付に対する考えが次第に高まってきたことには大いに喜ばしいことですが、「寄付の文化」はまだまだ日本において理解が希薄ではないかと思えます。世界の現状に目を向けてみますと、「世界人助け指数」という評価の中で日本は2019-20年度では118位(119か国中)と下から2番目となっており、1位アメリカ・2位ミャンマー・3位ニュージーランドとなっております。

アメリカは2020年にアマゾン創業者(CEO)ジェフ・ベゾス氏が約100億ドルの寄付を行っておりますので当然1位でありましょうが、ミャンマーが過去3年1位であったことは子どものころから何らかの形で寄付という行為が日常生活に浸透していることがうかがえます。

では我が国において昔から全く寄付行為が無かったのかということではありません。奈良時代には仏教僧が民間から奉加(ほうか)と呼ばれる寄付を集める活動がありましたし、江戸時代には商人たちが寄付を出し合って橋を建設したり子どもらのために寺子屋を開いたり慈善活動や後進育成に財産・時間を提供する文化がありました。

ところが明治に入り国の政策で地方自治体が中央集権体制となり「福祉をはじめとする公共サービスは行政がやるべきもの」という意識が植え付けられた結果、寄付行為や人助けの精神が乏しくなっていました。

しかし近年我が国も次第に寄付に対する考え、理解が向上してきたように思えます。日本は自然災害が比較的多い所で過去において大きな震災等がありました。1923年の関東大震災そして1995年の阪神淡路大震災、まだ記憶に新しい2011年の東日本大震災とたて続きに見舞われました。どの時も日本はもとより世界中から大きな支援をいただき、国内では人助けの理念のもとボランティア活動が活発に行われるようになり、災害にあった人たちへ個人が個人で出来る範囲の支援が顕著になってまいりました。

近年の我が国の寄付額を見ますと

2010年(4900億)——>2020年(1兆2200億)となり徐々ではありますが「良いことをしよう」という考えが進んできたのではないかと思います。その「寄付の文化の向上」をロータリークラブが率先して進め、国民の皆様に啓蒙していくのも大きな活動のひとつだと思います。1917年にロータリー財団を創設したアーチ C・クラフの「世界でよいことをしよう」を実行し、世界平和を目指していきたいと思えます。



1. 創立40周年！台湾米山学友会が記念式典開催

現在、国内外で43の米山学友会が活動していますが、最初の学友会として1983年から活動を開始した台湾米山学友会。そして今年、同学友会は創立40周年を迎え、その記念式典が11月25日、台北市内で開催されました。会場には台湾在住の米山学友や、同学友会が支援する日本人奨学生のほか、日本からも多くの参加者が現地に集結。参加者は111人となりました。

当会からは、若林紀男理事長、滝澤功治副理事長、駒井英基常務理事が出席。そのほか、韓国学友会の全炳台会長（1980-83、91／仙台北RC）、スリランカ学友会のダシルワ プブドゥ会長（2007-09／室蘭北RC）や、台湾学友会の歴代理事長らも駆けつけ、節目の40周年を祝いま



した。
林志昇^{リン シン ショウ}理事長（1992-94／津RC）は、「これまで支えていただいたロータリー会員と米山奨学会に改めて御礼申し上げます」と感謝の言葉を述べました。活動・会計報告を行った後、同学友会が独自支援している日本人奨学生5人が流ちょうな中国語で自己紹介を行い、温かい拍手が送られました。なお、同学友会が2009年から日本人若手研究者奨学金として支援してきた奨学生は累計53人となり、今回の式典にも元奨学生6人が出席しました。

台湾のみならず、韓国やスリランカからも学友が集った会場では、これまでの台湾学友会の歩みを振り返るとともに、感謝の言葉で溢れました。



2. 来年の年賀状は学友がデザイン

当会では、評議員、理事、監事、専門委員、地区米山奨学委員長、奨学生、日本在住の学友などへ毎年年賀状を送っています。来年の年賀状は、アーティストとして活躍する米山学友、ロウギョウネイさん（2018-19／東京町田RC／東京麴町スターロータリー衛星クラブ創立会員）によるデザイン。お手元に年賀状が届いた方は、じっくりとご覧ください。

<ロウギョウネイさんからメッセージ>

この作品のタイトルは「抱龍」です。来年の干支である龍は、幸運の象徴。2024年は、皆さんそれぞれが多幸を胸に抱くことができるよう願いを込めて、龍を抱く姿を描きました。一人でも多くの方が、たくさんの幸福をその胸に抱くことができますように。



3. 次期地区米山記念奨学委員長セミナー開催報告

2024-25 年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第1回セミナーを12月4日、都内会場で開催しました。

午前の部は、若林紀男理事長の挨拶、井原實常務理事の講話から始まり、滝澤功治副理事長から危機管理に関してご説明いただいた後、事務局から学務関連について説明を行いました。

午後の部では、事務局から寄付、広報、学友会について説明。続いて第2660地区（大阪府）の事例発表として、辻本啓之次期委員長より寄付増進の取り組みについてご紹介いただきました。同じく事例発表として、第2650地区（福井・奈良・滋賀県・京都府）の片山隆永委員長から、危機管理に関する対応事例について発表いただ



きました。その後、4グループに分かれて「寄付増進について」「奨学生選考と育成について」「学友・学友会について」「危機管理について」などをテーマにディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、神野重行常務理事の講評で締めくくられました。

4. 寄付金速報 — 12月の送金はお早めに —

前年同期比

+ 4.9%

普 + 0.3% 特 + 7.0%

11月までの寄付金は、前年同期と比べて4.9%増（普通寄付金:0.3%増、特別寄付金:7.0%増）、約3,480万円の増加となりました。今月は特別寄付金に加え、普通寄付金

も前年度を上回るご寄付をいただきました。常日頃からご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。12月29日（金）までに当会口座に着金した特別寄付金については、確定申告用領収証を来年1月末日までに各クラブ宛に発送します。確定申告をご予定されている方は、お早目にご送金くださいますようお願いいたします。

5. 韓国米山学友会が総会開催

11月18日、ソウル市内のホテルにて、韓国米山学友会総会が開催され、国内外から集まった米山学友とロータリー会員ら73人が参加しました。当会からは若林紀男理事長、滝澤功治副理事長、柚木裕子事務局長が出席しました。



全炳台会長が開会挨拶を行い、参加者への感謝を述べた後、若林理事長から祝辞が送られました。その後、日本人奨学生への奨学金授与式が行われ、今年度の9人の奨学生のうち出席した4人が受け取りました。同学友会は独自で現

地日本人留学生を支援しており、累計の奨学生数は42人となりました。

また、今年度をもって、2014年から10年にわたり同学友会の会長を務めた全炳台さんが退任し、2024年1月1日

から新たに朴在泳^{パクジェヨン}さん（1995-97/仙台泉RC）が6代目の会長に就任することが決定。就任に際し、「学友会の発展のために努力し、韓国と日本の懸け橋となり、世界各国の学友会と交流を通じて米山の精神を受け継いでいきます」と、今後の学友会活動への意気込みを語りました。

6. 食と文化の奉仕活動 第 2750 地区米山学友会

11月11日、東京都市大学等々力高等学校にて国際交流イベント「米山クロスカルチャー」が開催されました。この取り組みは、今年で9回目の開催で、東京クロスシティRCが主催しており、第2750地区米山学友会と同地区米山記念奨学委員会が後援しています。

同校の高校生231人に対し、現役奨学生・学友やローターアクターなど51人が講師役を務め、母国紹介や留学経験、趣味についての話題を日本語と英語、あるいは各自の母国語を交えて交流。生徒らは英語でプレゼンテーションを行うなど、お互いが外国語を用いた異文化交流を行いました。

また翌週18日には「ひとり親支援フードドライブ」を開催。6人の学友と9人のローターア



クター、同地区の粕谷啓之米山記念奨学委員長らが参加しました。東京オーキッド世田谷南RAC、東京クロスシティRCと連携し、世田谷区内在住で、子ども食堂の利用経験がないひとり親の方々100世帯分の食材を集め、世田谷区社会福祉協議会に寄付しました。寄付されたものには、ローターアクターの相楽侑加さんのご実家の福島産コシヒカリや、学友提案のレシピ用食材、韓国のお菓子など、さまざまな食材が集まったそうです。また、食材寄付に加え、同学友会が掲げる3つのテーマである「震災や災害情報支援」「食を通じた国際交流」「高齢者の社会参加」に沿って、東京オーキッド世田谷南RACが地震発生時の防災ガイドラインの提供、第2750地区学友会が海外食材を使ったレシピと文化紹介と、デイサービスでの子ども向けプレゼントの製作を行いました。



◆ベトナム南米山学友会 創立記念式典のご案内◆

海外10番目の学友会として設立されたベトナム南学友会の
創立記念式典が開催されます

2024年3月10日(日) 17:00~21:00
THANH THUY レストランにて開催(ホーチミン市内)
問合せ先: vietnam.yoneyama@gmail.com

詳細はQRコードから



申告用領収書は来年1月にお送りします



ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「**税額控除**」か「**所得控除**」いずれか**有利な方式を選択**できます。今年1~12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12月29日(金) 当会着金分までが対象**です。

米山記念奨学会事務局は、12月28日(木)~1月8日(月)の間休業させていただきます。来年は1月9日(火)より通常業務となります。